【学校通信】

平成 31 年 4 月 10 日

第 2 号

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西　規之

始業式を行いました

４月８日（月）に始業式を行いました。始業式までに「離任式」と「着任式」を行い、本校を去られた先生方にお別れをした後、逆に本校に来られた先生方の紹介をしました。その後はいよいよ担任の発表です。２、３年生全員の視線が発表する私に向けられました。これだけ真剣で集中した視線を送ってくれるのは、１年を通じてもこのときくらいです。担任を発表したときには、うれしそうな声を上げたり、歓声が上がったり、様々なリアクションが見られました。新２年生は控えめな拍手、新３年生は元気な反応だったと思います。この１年間、一緒に学校生活を送っていく先生と仲間が決まりました。一人ひとり個性があり、考え方が違います。けんかをしたり人間関係がうまくいかないときもあるとは思います。それも卒業の時に振り返れば「いい思い出」となると思います。さあ、この１年の素晴らしいスタートを切りましょう。

～　始業式　式辞からの抜粋　～

さて、今日から１学期が始まりました。１学期そして、１年の始まりに際して、２つのことを話します。

まず、夢や目標を持ってください。

西中生は色々な調査やアンケート結果から、全国平均と比較すると「夢や目標を持っている人」が少ないようです。そこで、今年度の学校教育目標のめざす生徒像に新たに「将来の夢や目標を抱き、その実現に向けて挑戦する人」という文言を付け加えました。また、４月１日の職員会議でも先生方に「みなさんといつも笑顔で接し、夢や希望を与えるような話をしてください」とお願いをしました。４月はすべての環境が新しくなります。３月までお世話になった先生方とお別れをし、新たにお世話になる先生方の紹介がありました。また、新しいクラス、担任の先生の紹介もあり、期待と不安が心の中で大きくなっているのではないでしょうか。初めてのことは誰にでも不安はあると思います。しかし逆に考えると、新たな環境になるということはチャンスだと思います。４月は、自分を変える、また、新たな夢を持ち、目標を立てて頑張るチャンスだと思います。この学年ではこんなことを頑張るぞと夢や目標を定めてください。例えば「〇〇高校に合格するぞ」とか「総体で優勝するぞ」などです。私の知る限り、素晴らしい成果を残している人たちはしっかりとした夢や目標を持っています。是非、目標を持って日々その達成に向けて努力してください。

夢や目標についての格言を紹介したいと思います。

①女子サッカーの澤穂稀さん　「夢は見るものではなく、叶えるもの」

②吉田松陰　「夢なき者に理想無し、理想なき者に計画無し、計画なき者に実行無し、故に、夢なき者に成功無し」

③サッカーの岡崎慎司さん　「簡単に手に入らないからこそ、夢には大きな価値がある」

④「夢は逃げていかない。自分が夢から逃げていく」

２つめは、あたりまえのことを当たり前にできるということです。

挨拶もある程度できていますが、相手の目を見て、立ち止まって、相手からではなく自分からできるように、高いレベルの挨拶を極めてほしいものです。これから高校の先生方がたくさんに西中を訪問されます。挨拶がよければ、「西中の生徒をぜひ内の高校にほしい」と思っていただけると思います。たいへん印象が良くなると思います。また、いつも私が言っている、「学習規律５箇条」やスリッパをはじめ「すべての物をそろえる」等も、一人ひとりの自覚と引き続き各種委員会の取り組みで徹底してほしいものです。いつ外部からの人を招いても、授業を見てもらっても恥ずかしくない環境や態度で学習に臨んでおいてください。よろしくお願いします。

１学期、３年生は修学旅行、部活動の最後の総体、２年生はトライやる・ウィーク等の大きな行事があります。行事をはじめ授業や部活動に活力をもって臨む「燃える生徒」でいてください。以上をもちまして私の１学期の始まりに際しての話とします。頑張ってください。

以 上



日々、ホームページ更新中